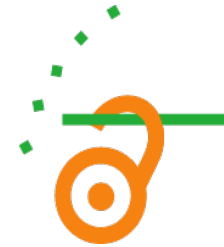


甲南大学機関リポジトリ 事例紹介



2017年度第2回機関リポジトリ新任担当者研修

甲南大学図書館

今野 智子

JPCOAR オープンアクセスリポジトリ推進協会
研修作業部会

甲南大学について



神戸にある、
ミディアムサイズの総合大学

8学部： 文学部、経済学部、法学部、経営学部、マネジメント創造学部
理工学部、知能情報学部、フロンティアサイエンス学部
学生数： 9,095名 専任教員数： 931名

建学の精神：
人格の修養と健康の増進を
重んじ、個性を尊重して
各人の天賦の特性を啓発する

旧制高等学校の伝統を継承。
人間としての総合力を高める「人物教育」
を率先しています。



創立者・平生鈇三郎



甲南学園は、2019年に創立100周年を迎えます

甲南大学図書館



蔵書冊数:

全学 108万冊
図書館 53万冊

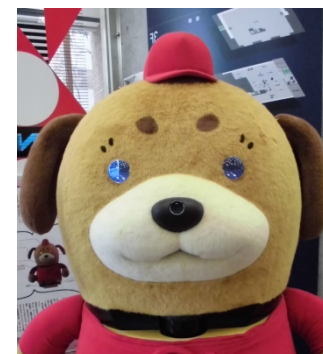
- 岡本キャンパス
図書館
サイバーライブラリ
- 遠隔地キャンパス
CUBEメディアセンター
ポートアイランドキャンパス図書室

機関リポジトリ運用状況 (2017年6月現在)

登録コンテンツ数: 2,762件
うち、紀要論文: 1,458件
博士論文: 32件

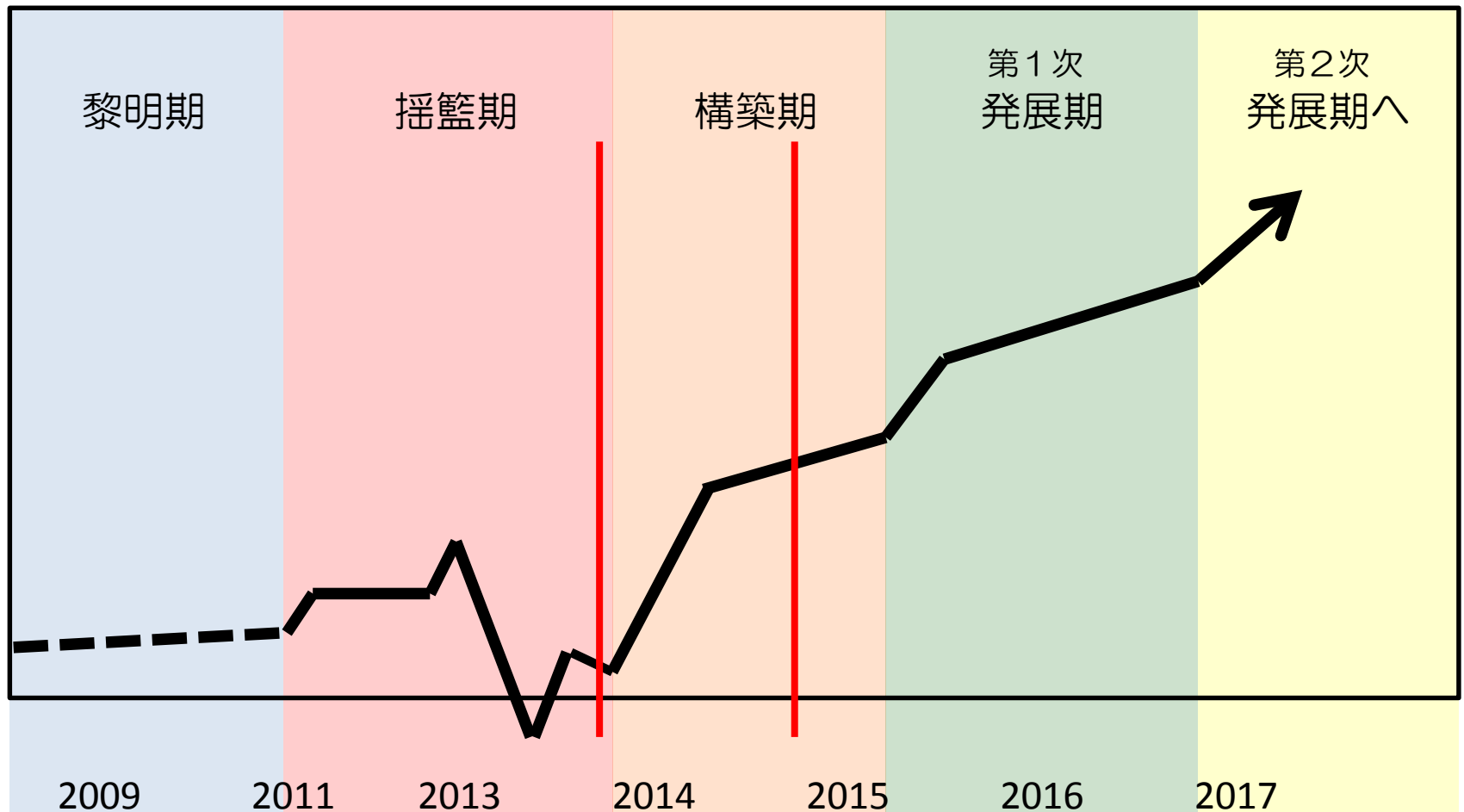
ダウンロード件数: 7,194件/月平均(直近1年)

KoRo(コロ)
(図書館案内ロボット)

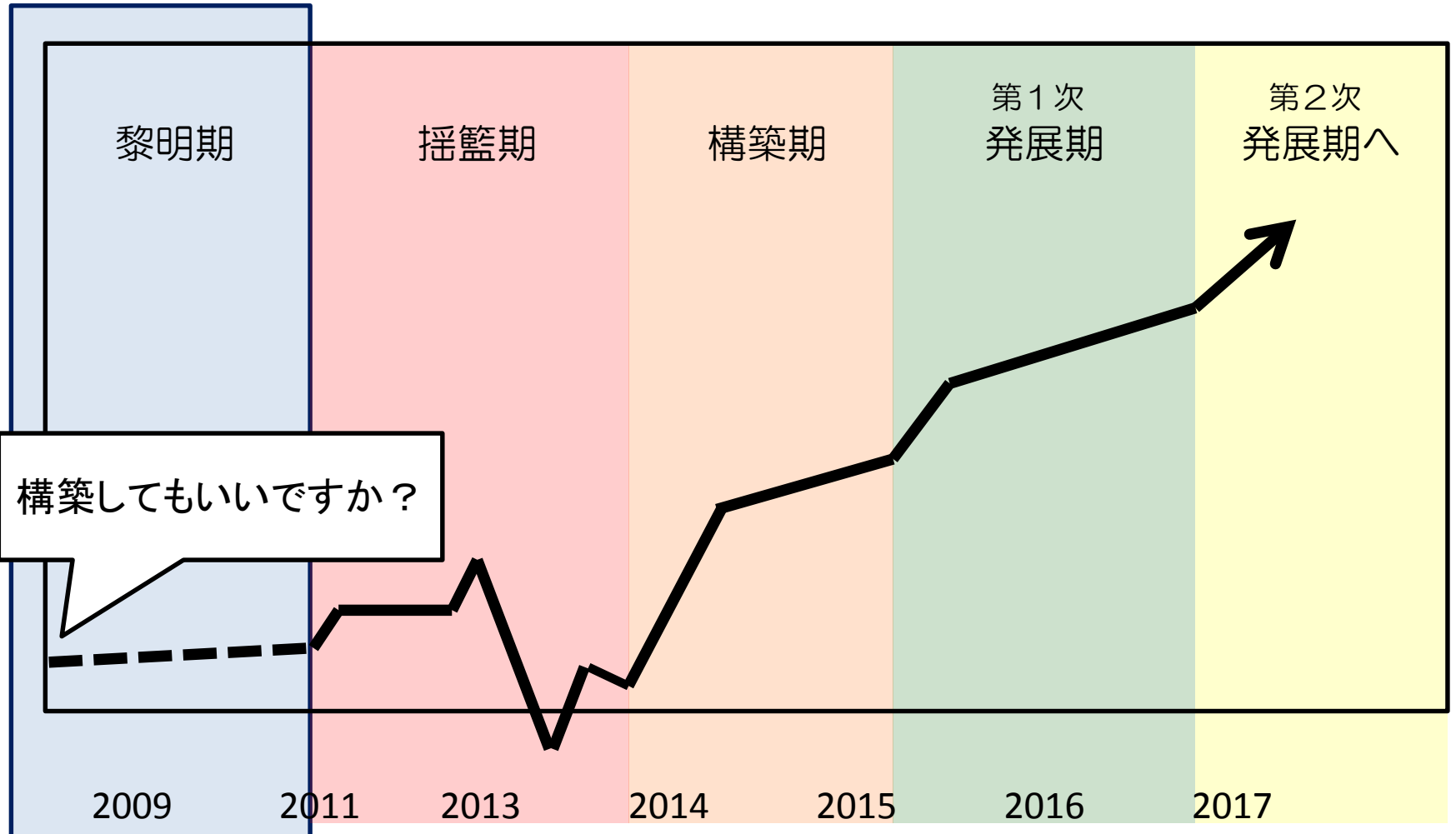


知能情報学部所属

本学機関リポジトリの歩み(概要に代えて)



長い黎明期



長期間機関リポジトリを構築できなかった原因

機関リポジトリを構築してもいいですか？

義務じゃないんでしょ？

リポ…？リ…？

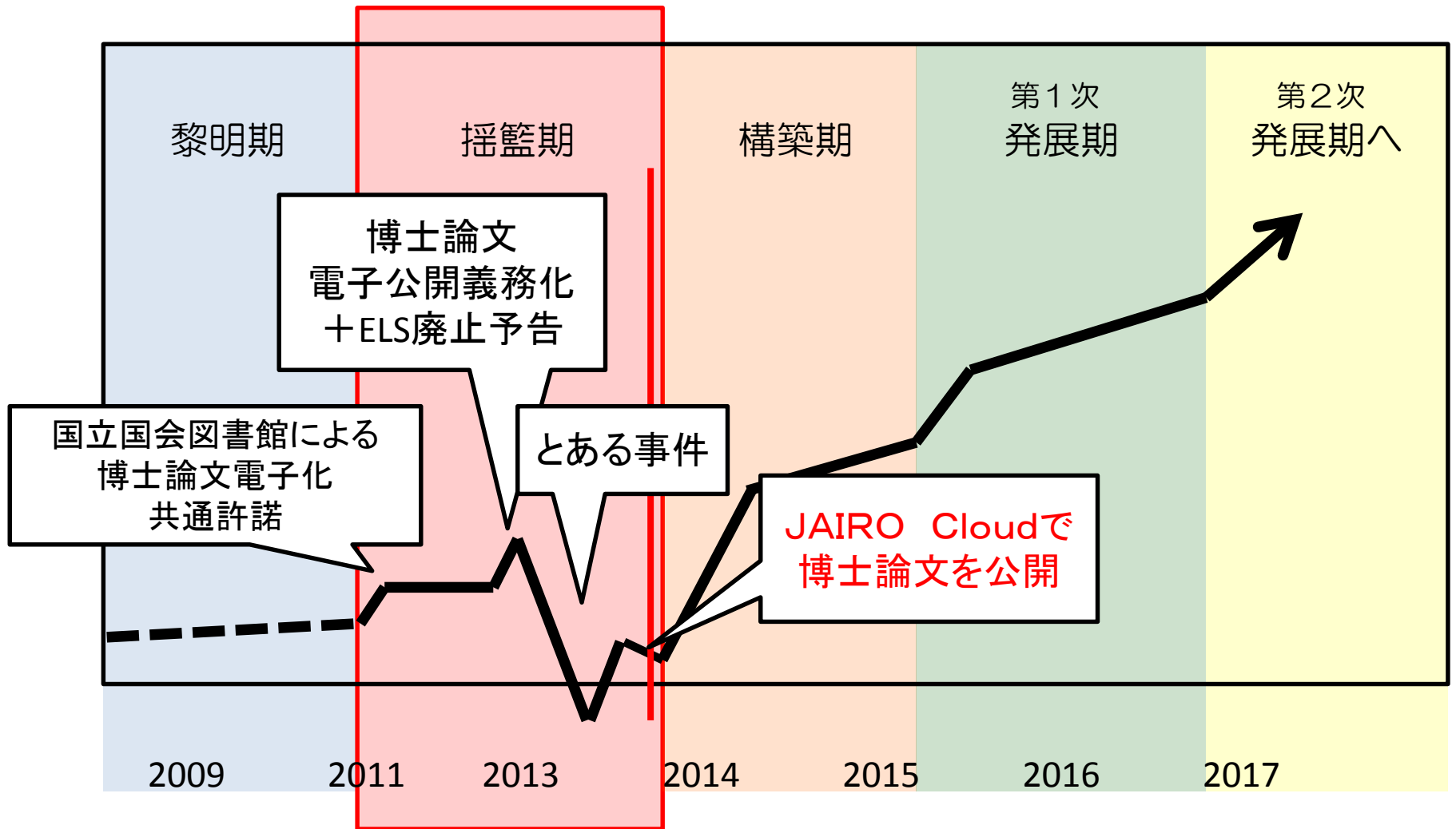
著作権のこととかよく分からないし…

紀要はELSでもう公開しているから…

誰がやるの？

この「もやもや」を
解消できず、
数年が経過
・
・
・

激動の揺籃期



外部からの導き①

- 国立国会図書館による
博士論文のデジタル化事業(2010年度)
 - 大学との共通許諾＝大学からも公開できる
 - 著者からの許諾取得の先例にできた

→ 公開できる9件のデータを入手

→ 図書館システムの論文公開機能で公開
(2011年)

→ さあ、機関リポジトリへ・・・？



外部からの導き②

- 博士論文のインターネット公開の義務化
(平成25年度授与分、実質2014年～)
- ELS(国立情報学研究所電子図書館事業)の停止
(2017年度からの停止予告)

→ 今度こそ、「機関リポジトリ」を！

- とりあえず、図書館システムの論文公開機能を使って博士論文を公開
- 「機関リポジトリ規程」を制定し、ELSから移行・・・

→ と、動き始めた矢先、

とある事件

2013年12月

「図書館システムの論文公開機能」が
使えなくなりました・・・



A : 自館でシステムを構築する

▶ B : 『JAIRO Cloud』 を利用する

構築までの間、仮利用させていただけないか？と、おそるおそる問い合わせました。
「長期的に利用していただきたい」とのご回答を頂き、本格的に利用させて頂くこと
に。

『JAIRO Cloud』で博士論文公開

2014年5月

『JAIRO Cloud』で博士論文を公開開始

←博士論文の要旨の公開期限が授与から3ヵ月後のため、先行公開

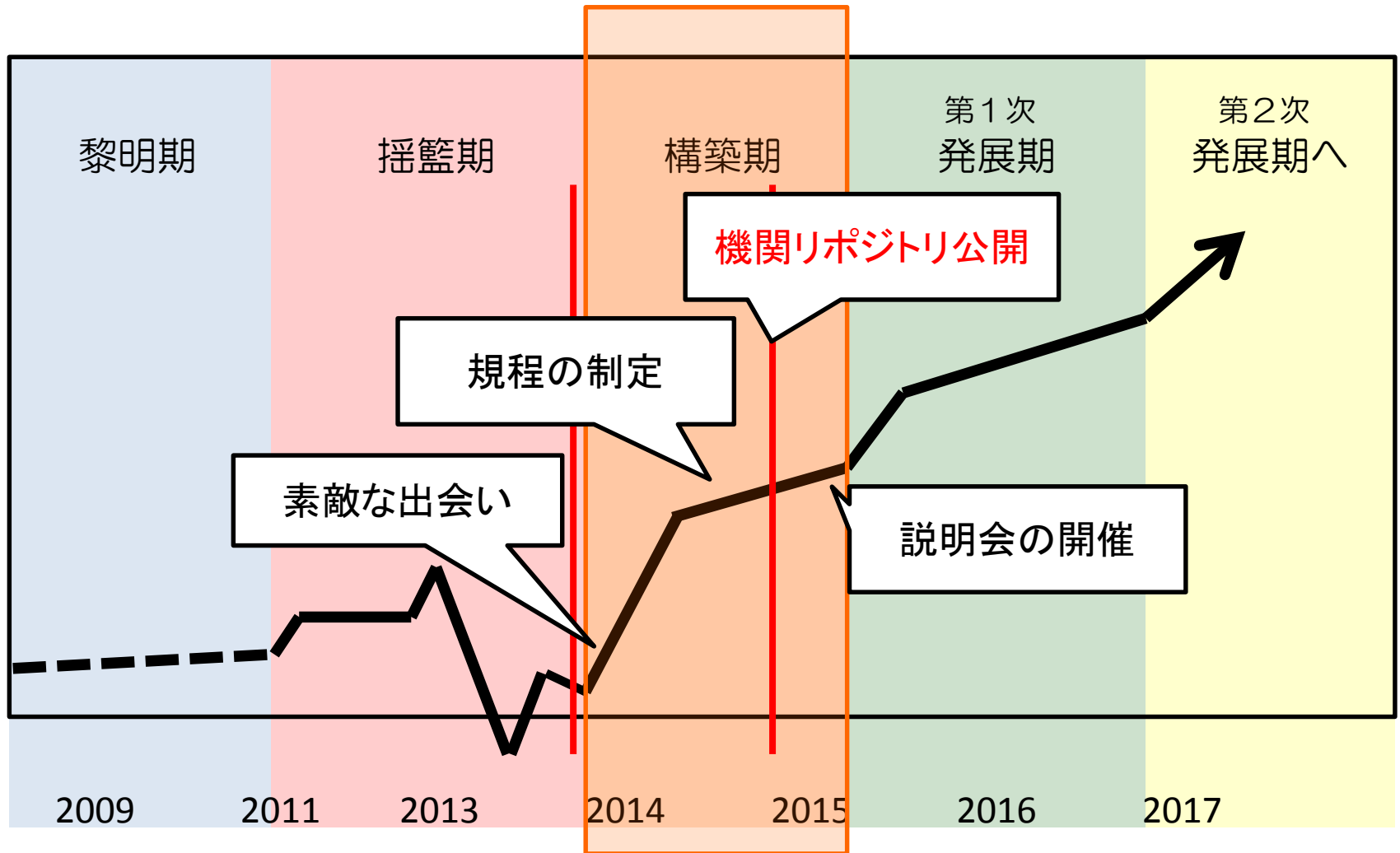


※この時点では、
まだ、「機関リポジトリ」ではありません。
ん。

→ できるだけ早く、「機関リポジトリ」を！

と、急ぎながらも、**学内の合意を経て**、2015年2月に規程を制定。

本学機関リポジトリの歩み(概要に代えて)



素敵な出会い

- 『JAIRO Cloud』の利用を開始したものの
 - 使い方がよく分からない。
 - なにより、
どんなりポジトリにしたいかが分からない。

→ 先進校に聞いてみよう！

- JAIRO Cloudの使い方だけでなく、
運用方法などを伺うことで、
方向性が明確に



機関リポジトリ規程の制定

• シンプルに、明確に、

誰が設置？

- 大学が設置
- 図書館が管理・運用

何を登録？

- 学術研究と教育の成果物

リスク対応

(公開の一時停止・削除)

- 申請者からの申し出
- 図書館長権限で一時停止
- 学長権限で削除可

誰が登録？

- 原則学内研究者
- 著作者以外からの申請も可
- 団体からの申請も可
- 図書館長権限で例外を認める

名称は、あえて

「甲南大学機関リポジトリ」に。

→「リポジトリ」という単語に馴染んでもらう

→「リポジトリ」が分からなくなっても、

「機関〇〇」で通じる

→ 100年でも、**持続可能**にしよう！

機関リポジトリの運用開始



2015年2月～

ログイン

甲南大学機関リポジトリ

Konan University Repository

甲南大学機関リポジトリとは
本大学において生産された電子的な学術研究成果物及び教育成果物を蓄積・保存し、インターネットを使って学内外に無償で公開することにより、学術研究及び教育の発展並びに社会に対する貢献を果たすことを目的としています。

メニュー

- ・トップページ
- ・甲南大学機関リポジトリ規程
- ・登録申請について

登録申請書式

甲南大学機関リポジトリ

トップ ランキング

語

詳細検索 全文検索

Language

日本語

インデックスツリー

- ✦ 紀要
- ✦ 甲南大学総合研究所叢書
- ✦ 博士論文

インデックスリスト

- 📁 紀要 [2716件]
- 📁 甲南大学総合研究所叢書 [9件]
- 📁 博士論文 [32件]

（記入例）
◆ 発行物単位申請用同意書（例）
（記入例）
> 詳細

デザインはシンプルに、
メタデータは分かりやすく、
PDFには(できるだけ)透明テキストを付ける

<https://konan-u.repo.nii.ac.jp/>

目標の設定と登録説明会

→ まず、紀要コンプリートを目指す！

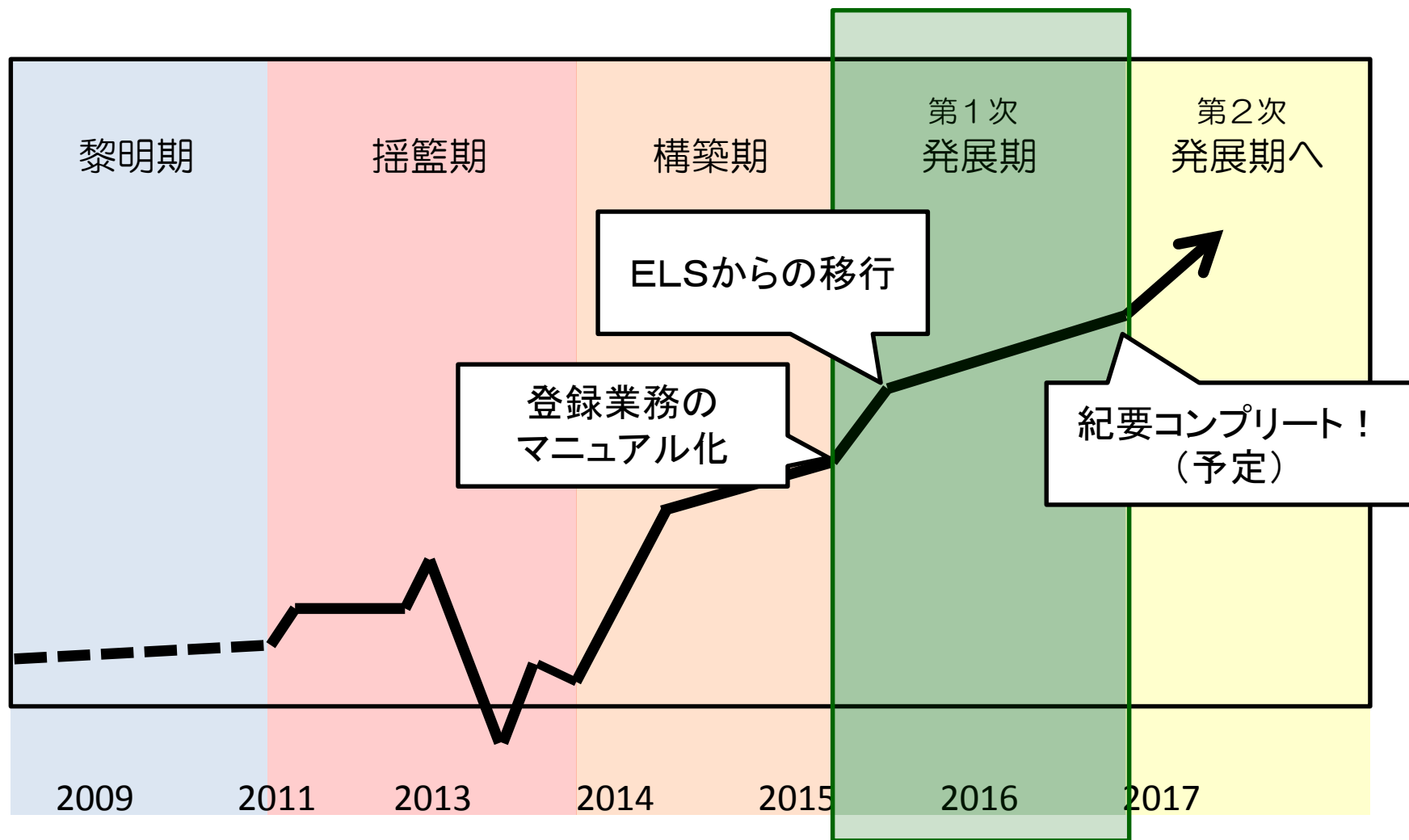
- 学内発行物は、他の誰も電子化してくれない
- 学内での認知度が高い



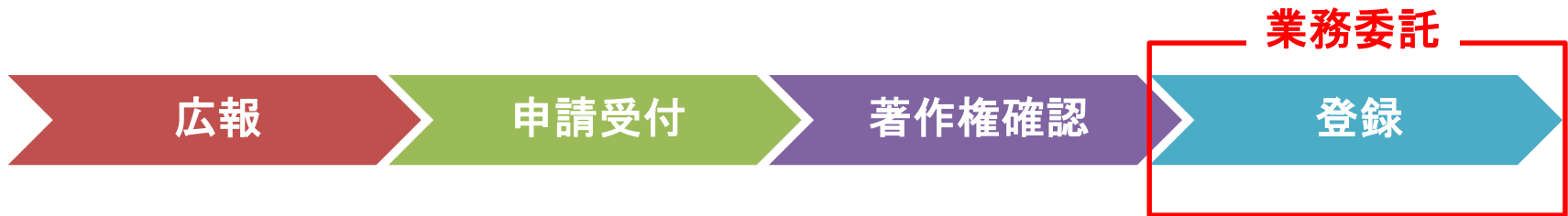
→ 登録説明会は事務員もターゲットに！

- 任意の「説明会」に教員はほとんど参加しない
- 各部署のルーチンワークに組み込みたい

歩みは遅くとも、第1次発展期



登録業務のマニュアル化

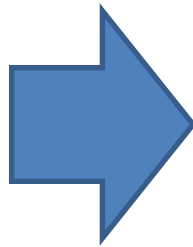


- 本格的に登録を始める前に、マニュアル化
 - コンテンツ毎に登録IDを付番（登録台帳）
 - 登録方法をマニュアル化
- リポジトリは、常に「発展途上」
- コンテンツ作成者と共に運用を検討していくために、“コンタクト”が必要な部分は委託していない

ELSからの移行

- ELSデータを一括移行。
- 今後は機関リポジトリに登録いただくように依頼。
しかしながら、機関リポジトリには不信感が・・・

た。で失こ
し。敗れ
は



機関リポジトリとは、・・・云々・・・

登録したい方は、申請してください。

他学部は登録していますよ。

→ めげずに、アプローチ×2、×3・・・

コンテンツ数は、2年間で2倍に増加

ダウンロード数(月毎)は、2年間で約10倍に増加

コンテンツ収集

- 問答事例

論文を機関リポジトリで公開しませんか？

義務じゃないんでしょ？

義務ではありません。
プライバシーにかかる問題などがある場合は、公開しないでください。
ですが、**せっきくの研究成果ですので、是非公開して頂きたい**です。

自分のHPから公開してるよ

両方から公開頂いてもOKです。
機関リポジトリを使うと、**長く保存されます**し、CiNiiやGoogleなど、**他のシステムと連携している**ので、格段に利用されやすいです。

コンテンツ収集

- 問答事例（未解決）

〇〇万円払ってOAにしちゃったよ。

……。研究費が厳しいときはご相談ください……。

もう、議論が終わった論文だから。

保存しておけば、いつか別の研究に役立つかもしれません……

学外（一般企業の方）からも、こんなご意見をいただきました。

紀要をインターネット公開しないのはもったいない。
大学の紀要には、ユニークな資料が多数存在している。
是非、全ての論文を公開してほしい。

紀要コンプリート！（を目指して）

・ 学問分野特有の事情を理解する

＜本学の傾向＞

文学

- ・ 紀要論文を重用
- ・ 著作権処理に関する不安感

心理学

- ・ プライバシーに敏感（臨床事例）
- ・ 学会誌重視だが、紀要も使う

経済学

- ・ 公開に異議なし

理学

- ・ 学会誌（査読）重視
- ・ 複数著者が多く、学部生も含まれる

言語学

- ・ 個々の教員がポリシーを持っている
- ・ バリエティ豊か

法学

- ・ 紀要論文を重用
- ・ 著作権処理はきちり

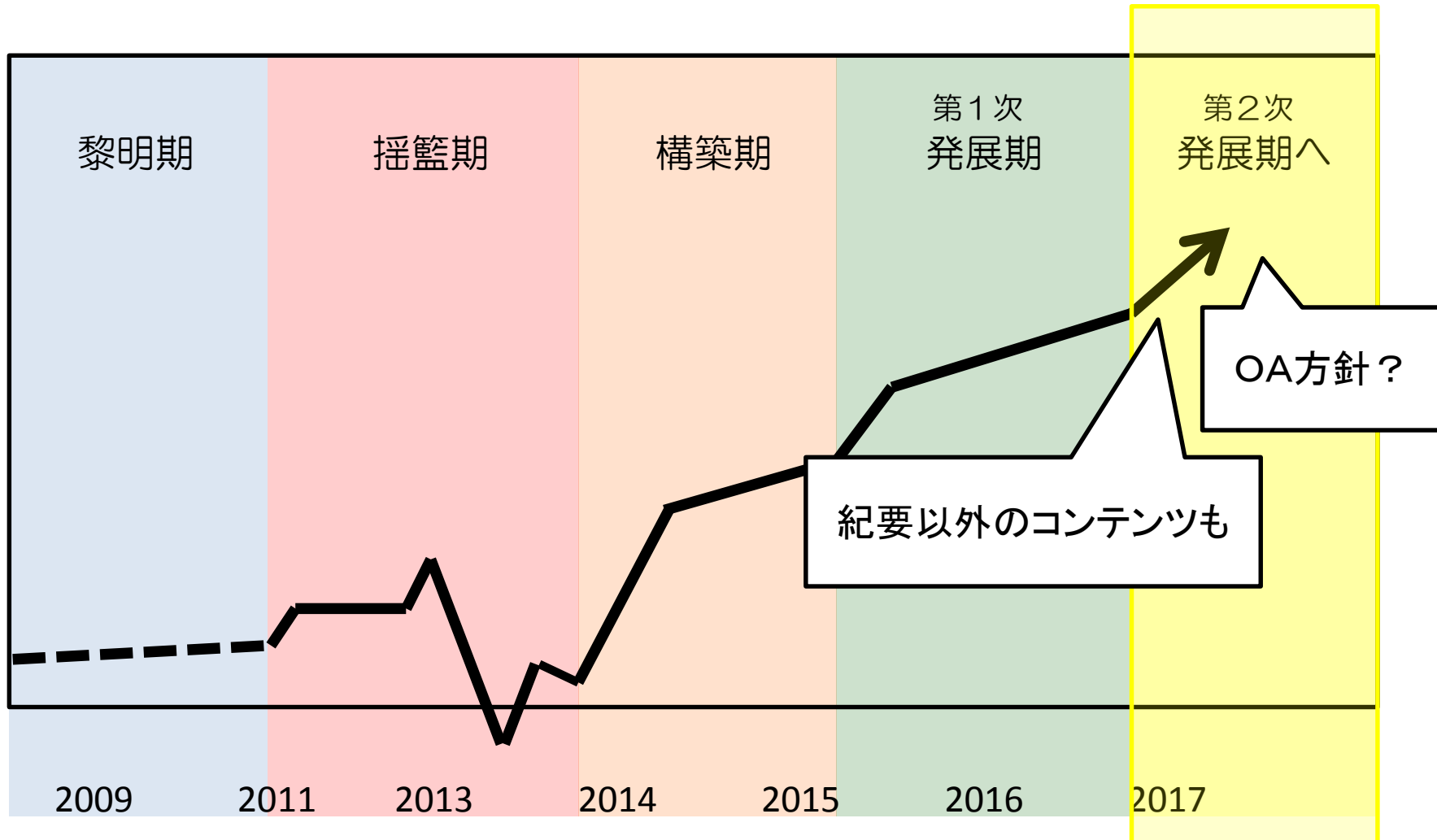
経営学

- ・ 納得できれば公開に賛同

情報学

- ・ 個々の教員がポリシーを持っている
- ・ 複数著者が多く、学部生も含まれる

次の時代へ、第2次発展期



最後に

ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。
これからも、どうかよろしく願いいたします。

ご清聴いただきました皆様、
本日は、ありがとうございました。
これから、どうぞよろしく願いいたします。